

保険証一枚ではり・きゅう・マッサージを受けたい

医療を考える会 会報

発行元:NPO 法人 医療を考える会

住所 渋谷区代々木 2-39-7 メゾン代々木 201 号

TEL 03-3375-6151 / FAX 03-3299-5275

メール iryokangaeru@waltz.ocn.ne.jp

ホームページ <http://npo-iryoku.org/>



第 28 回千駄ヶ谷社教館まつりに参加

理事長 山西 俊夫

2 月 1 2 日 AM10 時から PM 3 時にわたって社教館まつりが開催され、例年通り NPO 医療を考える会がボランティア活動に参加しました。当日は好天に恵まれ事務局より 3 名、施術者 1 2 名計 1 5 名が熱心に体験コーナーをとりおこないました。今回で 7 回目の参加でした。

受付を担当しましたが、高齢者のご婦人の方々の申し込みが圧倒的に多く、皆さんそれぞれ肩、膝、腰、脚に不調を訴えておられました。中には毎年体験コーナーを利用してくださる常連の方もおられました。受療後、これを機に東洋医療を継続したいがどこか近くに施術者がいないか紹介してほしい、年金生活の為高く

は払えない等の切実な声をお聞きするにつけ、我々の活動が国民一人一人が健康保険で東洋医療を自由に受けられることを実現するために署名活動を展開していますと説明すると、快く署名に協力してくださり、アンケートに回答してくださいました。中にはこれからも当会と連絡をとりたいとの積極的な意見も出ました。

署名は昨年より多く 3 4 名、体験された人数もほぼ同数でした。これは好天に恵まれたことと患者さんの関心が徐々に高まってきたことの顕れと言えると思います。特に社教館まつりに展示されているご婦人方が連れ添って体験されたのが目につきました。

中には体験した機会に、事務局から送付された複数の資料を仲間に配っていると笑顔で述べられた方もいらっしゃいました。PM 3 時の締め切り後も入場されて体の不調を相談される子供連れのご婦人もいらっしゃいました。この意味でわれわれの活動の PR をより強く推進していく必要性を感じました。

当日熱心に参加いただいた方々のご協力に感謝申し上げます。



【受付周りの風景】

社教館まつり

鍼灸・マッサージの普及活動に汗を流して

田中 榮子

今年〈社教館まつり〉は春めいた日差しの2月12日（日）に行われました。この会館を利用して、生け花、書道、おどり、絵画等の趣味活動を行っているグループの発表の場です。私達NPOは、通年、この会場を借りて講演会等を行っている関係で、毎年、この〈まつり〉に参加しています。

私たち『NPO法人 医療を考える会』にとっては、参加者に、鍼灸・マッサージ、東洋医療の有効性を伝え、理解を深め、“希望する人は健康保険で安心してかかれる制度づくり”をアピールする良い機会です。

マッサージ体験コーナーは、一時は列ができるくらい希望者が多く、30名の方が実体験しました。『一般社団法人 鍼灸マッサージ師会』から参加した鍼・灸・あん摩マッサージ指圧の資格者は、それぞれ得意な方法で心をこめて治療して下さいました。治療を終えた人たちの顔は、おだやかで満足気となり、「このような治療、いつでもやってもらえたらいいですね。」等話され、健保改善署名やアンケートにもこころよく応じて下さいました。

治療にとりかかる前に、血圧が高めの人には、事故防止のため、先に血圧を測ってから受けてもらいました。

この日の健保改善署名は34筆でした。

本日の主催者側参加者は15名。

荒木文雄・岩下幸卯・小原洋一・木幡久美子・久下勝通・清水一雄・瀬川信幸・高橋養藏・武井百代・田中榮子・奈須守洋・松本道子・松本泰司・山西力・山西俊夫（50音順）の各氏でした。

今後の工夫として、

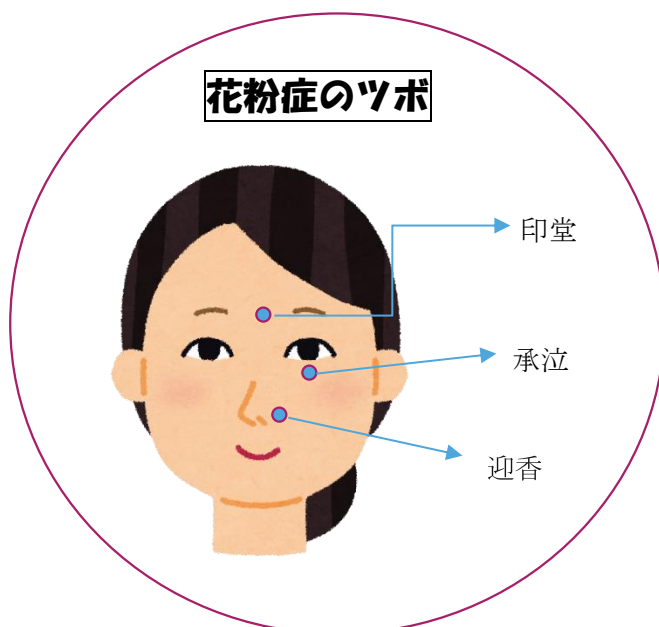
*このコーナーで体験した人からの「続けて受けるにはどうしたら良いか？」という問いに対し、答えられるようにしたい。

*今回は2階3階の展示会場を回っての署名活動をしなかったため、次回は出来る範囲で回りたい。

ということが挙げられます。

私たちの願い、“鍼灸・マッサージを健康保険で気兼ねなく受けられるように”という課題を、今年は現実に前進できるように、患者・一般市民と一緒に着実な活動をしていきたいと、強く感じた日でした。

ご参加の皆様、大変ありがとうございました。



千駄ヶ谷社教館まつりに参加して・・・

奈須 守洋

渋谷区千駄ヶ谷社会教育会館の第28回社教館祭りが、2月12日に開催されました。千駄ヶ谷社教館まつりの趣旨は、社会教育会館を利用する団体が団体の活動をアピールすることにあります。そこで会として、鍼灸師やあん摩・マッサージ・指圧師の治療についての理解を広げ、地域との交流を深めるために、あん摩・マッサージ・指圧師による治療体験コーナー、はり・きゅう治療や健康保険による治療相談などの相談コーナーを設けて、過去5年間、参加してきたようです。そして本年も引き続き、治療を体験してもらうボランティア治療、署名への協力をお願いする取り組みなどを行いました。地域住民にとっても、国民の健康維持に鍼灸・マッサージを活用できることや、健康保険制度の改善の運動への理解を得るための大切な機会となったようでした。

私は今回初参加でしたが、毎年常連のように



【治療する筆者（右）】

ボランティア治療を受けに参加している方も複数いたことから、この会の取り組みが千駄ヶ

谷周辺に根付いてきていることを感じました。ボランティア治療の利用者も過去最多だったようで、本年も大盛況と言ってもいいのではないのでしょうか。一会員としても、受療喚起や健康保険制度改善のために、今後もこのような取り組みを継続していただきたいと思いました。

それと同時に、私自身も鍼灸治療の普及活動を私の運営する Health Cure Support（ヘルスキュアサポート）として行っていることから、幾つかの改善点も見えてきました。例えば、マッサージの無料体験は多いですが、鍼の無料体験は1人しかありませんでした。鍼灸の受療率が低下しているという調査結果も報告されていることから、無料体験だけでなく、実際に鍼やモグサに触ったり、実際に鍼を練習台に刺したり、モグサをひねったりすることによって、鍼やお灸は怖いといった誤解を解くようなアプローチも必要ではないでしょうか。それから、今回は33人に無料体験していただきましたが、地域住民へのインフォームの仕方を変えることによりイベントの認知をより高め、イベントに参加していただける地域住民の方も増えたかもしれません。

何れにしても、私は今回のイベントに参加できて、会としての活動の一端に触れることができるとても勉強になりました。このような草の根運動は継続することに意味があると感じております。来年度の千駄ヶ谷社教館まつりでのイベントの益々の発展に期待します。参加させていただきありがとうございました。

2017年2月12日(日) 「社教館まつり」アンケート

(25名のご協力をいただきました)

1. 今までに東洋医学にかかったことがありますか？

- | | |
|------------|----------|
| ①初めて | 17 |
| ②時々体験 | 8 |
| ③定期的に通っている | 6 (整骨院1) |

2. 今回体験して感想はいかがですか？

- | | |
|-----------------------|----|
| ①体が楽になりました | 17 |
| ②定期的に治療を続けたいです | 2 |
| ③自分の体の別の面(関節)を認識できました | 1 |
| ④良い体験会でした | 2 |
| ⑤ストレッチの方法がわかりました | 1 |

3. 東洋医療に健康保険が適用されない実態をどう思いますか？

- | | |
|--------------|----|
| ①是非適用してほしいです | 17 |
| ②なんとも言えません | 1 |
| ③困ります | 3 |
| ④何故でしょう？ | 2 |

寄稿

～以前にご寄稿いただいた文章を、この度掲載させていただきます。
掲載が遅くなり大変失礼しました。～

今年の抱負

まずは健康第一。そして1年を振り返った時、今年も頑張ったと思えるような仕事ぶりができる
ば最高だと思います。

鳥海 健二 (NPO監事)

講演「当事者たちの告白を取材して」に参加して (28年11月27日)

今回、参加した講演のテーマは、介護される側でなく、介護をする側に焦点を絞ったものでした。
番組制作された方と介護殺人”当事者の告白”というNHKスペシャルで放送された番組ビデオを
見るものでしたが。重いテーマだけに深刻にならず俯瞰して考えたいと思います。

殺人まで追い詰められるのは何故でしょう？それぞれ金銭面・生活環境・状況など様々な要因の
違いがあるので。これといった答えは出てきませんが。私も、最近母が認知症になり、一時期、父
が入院し介護する者が自分しかいなかった時は仕事すらキャンセルしてしまうような状況になっ

たので番組に出てくる当事者の方たちの「自由な時が無い」という言葉には追い詰められた感じが籠ってるように感じました。追い詰められる一つの要因を無くすものとして、最低ラインで介護につきっきりで離職せざるを得なくなるような介護する人たちをなくす介護制度の見直しが必要ではないかと感じます。それには、特別養護老人ホームなどの入居条件の緩和も1つですが。

質疑応答の中で、「老人ホームの建物自体は充分あってもそこで働く職員の方が足りない」との話がありました。介護職の人たちの職場環境・待遇面の問題はずっと指摘され続けてますが、まだ、改善にはいたってないようです。

そして、最後に施術者としては、認知症や寝たきりになる前の予防医療として広く世間に鍼灸マッサージの効果が認知されるように向上していけたらと思います。

清水 昭

神代植物公園散策のご案内



日時 6月18日(日) 11時~15時

待ち合わせ 植物公園入口 10時45分

陽射しは春らしさを帯びてきましたが、みなさまお変わりなくお過ごしでしょうか。花粉症予防のマスクをする人が年々増えているようで、アレルギー体質の増加は大変な問題です。自然治癒力強化のため、食べ物を始めとする生活改善が重要だと思います。

さて、「NPO 医療を考える会」会員交流会、初夏の神代植物公園散策のご案内です。ご多忙とは思いますが、緑あふれる別天地ですから、是非ご参加下さい。植物園の6月の花はバラ、花菖蒲、ユリノキ、スイレンなどです。

武蔵野の面影が残る園内で、四季を通じて草木の姿や花の美しさを味わうことができます。

この公園はもともと、東京の街路樹などを育てるための苗圃でしたが、戦後、神代緑地として公開されたあと、昭和36年に名称も神代植物公園と改め、都内唯一の植物公園として開園されました。現在、約4,800種類、10万本・株の樹木が植えられています。園内はバラ園、ツツジ園、ウメ園、ハギ園をはじめ、植物の種類ごとに30ブロックに分けており、景色を眺めながら植物の知識を得ることができるようになっています。

(神代植物公園 HP より)





深大寺（じんだいじ）だるま市と蕎麦でよく知られている深大寺が、植物園に続いているので散策には適したところです。江戸時代、深大寺周辺の土地が、米の生産に向かないため、小作人はそばをつくり、米の代わりにそば粉を寺に納め、寺ではそばを打って来客をもてなしたのが、深大寺そばの始まりと伝えられています。20軒以上の蕎麦屋さんが並んでいます

（京王線調布駅・つつじヶ丘駅や、JR 中央線三鷹駅・吉祥寺駅からバスで「神代植物公園前」下車。いずれも20～25分程度 東京都調布市深大寺元町 5-31-10 (042-483-2300)）

*** 交通案内詳細は、追って参加者にお知らせいたしますので、希望者は必ず事務局にご連絡下さい。**



実績報告

国民の会第4回定期総会 6月11日（日）に向け署名を持ったままの方、まだ声をかけていない方に呼びかけ1日も早く10万達成に頑張りましょう！

施術師会員の方は患者さんに協力の呼びかけをよろしくお願いします。患者会員の方も一層のご協力をお願いいたします。

「社教館まつり」でのアンケートに寄せられた声「保険で治療を受けたい」切実な願いが今年も沢山寄せられています。

事務局 山口充子

平成29年3月現在 **12,575 筆**（当会に寄せられた署名の到達点）

健康保険ではり・きゅう・マッサージ受ける「国民の会」の到達

37,435 筆